

早稲田大学 人間科学部 世界史 講評

出題形式	マーク式
試験時間	60分
特徴・その他	全問選択問題。大問5。2020年は大問4題と2019年から1問減少したかせもどった。問題総数は47問で昨年から2問減り、これも2019年にもどった。設問Xは空欄補充形式の語句選択、設問Yは文章正誤判定の形式は定着。昨年消滅した地図問題は復活。設問Xは易しいものが多く、設問Yの文章正誤の中に正誤判定のポイントが細かいものが目立った。全体として難易度は同程度。

[大問別講評]

番号	出題内容	コメント	難易度
I	ラテンアメリカ諸国の独立	設問X: A正解はc「ブラジル」。ブラジルはナポレオン戦争中にポルトガル王の退避先となっていたが、国王が本国に帰還後、皇太子ペドロを皇帝に擁立して独立(1822)した。擁立したのはブラジル支配層を形成していたクリオーリョの上層(大農園主)。B正解はc「メスティーソ」。C正解はa「マッキンリー」。設問Y:①正解はb。コシューシコが蜂起したのは第2回ポーランド分割(1793)の際。第1回分割(1772)は米独立戦争(1775~83)以前。②正解はd。ジェファソンは反連邦派。ジェファソンが初代大統領のもとで国務長官の任にあつたことはほとんど知られていないが、そのこと自体とは関係なしに反連邦派という点だけで誤文と判定できる。③正解はb。ローマ教皇との和解は「宗教協約(コンコルダート)(1801)」。「アミアンの和約」は1802年の英仏講和。④正解はd。カルデナス政権(1934~40)の時期、メキシコでは農地改革が進行している。戦間期の中南米諸国は盲点になりやすいが入試では頻繁に問われているので注意したい。⑤正解はbの「フロリダ買収(1819)」。a「ミシシッピ川以西のルイジアナ買収(1803)」はジェファソン政権下。c「テキサス併合(1845)とd「カリフォルニア・ニューメキシコ獲得(1848)」はどちらもポーク民主党政権下。⑧正解はc。グアテマラの左翼政権とはアルベニス政権(1951~54)のこと。その土地改革が米企業ユナイテッド・フルーツがグアテマラ国内に所有する広大な農園に及ぶことに危機感を抱いた米政府が干渉を強行した。aの「OAS」は1948年にトルーマン政権下で成立。bの「パナマ」はコロンビアからの分離。dの「ペロン」は「バティスタ」の誤り。	標準
II	周・高句麗・北宋の歴史	設問X:(1)正解はb「魯」。孔子の出身国として頻出事項。(2)正解はd「辰韓」。三韓(馬韓・弁韓・辰韓)の構図は基礎事項。(3)正解はd「好太王(広開土王)」。広開土王碑文とその出土地も重要。(4)正解はa「秦檜」。対する主戦派は岳飛。(5)正解はb「秦嶺山脈」。秦嶺山脈と淮河を結ぶ線はそれ以北の畑作地帯と以南の稻作地帯を分ける線としても重要。設問Y:①正解は(ウ)。「その遷都の地」とは周代の洛邑、のちの洛陽。唐代に国際貿易の中心となったのは長安。当時の貿易とは基本的に朝貢貿易である。②正解は(オ)臨淄は山東の地。渭水流域は陝西。(3)正解は(ウ)。(ア)の「魏の武帝」とは曹操のこと。九品中正法は文帝曹丕が導入。(イ)『文選』の編纂は梁の昭明太子。(エ)東晋建国は司馬睿。(オ)『齊民要術』は農業技術書。著者の賈思勰も重要。(4)正解は(ウ)。燕雲十六州獲得(936)は2代太宗耶律堯骨のとき。(5)正解は(イ)「農村の組織化と民兵」は保甲法。	標準

番号	出題内容	コメント	難易度
III	インド＝ヨーロッパ語族の古代史	設問X:A正解はc「ヒッタイト」、B正解はd「マガダ」、C正解はb「ドーリア」、どれも基礎レベル。設問Y:①正解はc。アメンホテプ4世(イクナートン)と見ただけで即答可能。aとdは古王国、bは中王国と新王国時代の間である。②正解はc。インダス文明の担い手は不明。インド＝ヨーロッパ語族は前1500年頃、ヒンドウークシユ山脈を越えて西北インドに侵入した。③正解はd。「ハルシャ王」は仏教の保護者として知られる。玄奘を厚遇したことでも知られる。④正解はa。bの「ティリンス」はミケーネ時代。c「ヴェントリス」はイギリスの学者。d シュリー・マンのトロイア発掘は1870年代。⑤正解はa。カタラウヌム(451)→西ローマ帝国滅亡(476)→東ゴート建国(493)→ランゴバルド王国建国(568)の順。東ゴートとランゴバルドの前後がわかれば難しくない。⑥正解はb。「コンスルの1人は平民」とはリキニウス＝セクスティウス法(前367)の内容。前4世紀。ローマ関係は「○△世紀の前(後)半」といった正誤判定が多い。	標準
IV	東南アジア諸国の独立	設問X:(ア)正解はd「国民」。スカルノの政党「インドネシア国民党」(結成1928年)はアジア最古の共産党であるインドネシア共産党(1920年結成)とともに重要。(イ)の正解a「オランダ」、(ウ)の正解b「ジュネーヴ」、(エ)の正解b「17」は易しい。(オ)正解はc「シハヌーク」。ふた昔前までは青年時代の派手な立ち回りからカンボジアを代表する著名人だったが、昨今では完全に過去の人となっている。1941～55年までカンボジアの王位にあったが55年に退位し王制社会主義を標榜する政治家となった。設問Y:①正解はc。a スカルノは欧州留学ともヒラーファト運動とも無関係。b「反ファシスト人民自由連盟」はウン＝サン関連。d 九・三〇事件(1965)はスカルノを事实上失脚させた軍事クーデタ。②正解はb。ラーンサーン朝(1353～1710年頃)はビルマ(タウンジー朝)の支配に屈した。アンコール朝やパガン朝とは無関係。③正解はa。フィリピン共和国大統領はアギナルド。④正解はb。(2)「阮福映ベトナム統一」=阮朝成立(1802)→(1)「越南国王に冊封」(1804)→(4)「黒旗軍組織」(1867)→(3)「清仏戦争」(1884～85)の順。先頭が(1)or(2)、最後尾が(3)or(4)で絞り込める。⑤正解はa。ディエンビエンフーはラオス国に近いということを知っていれば簡単だがそうでないと厳しい。	標準
V	ヨーロッパの諸革命とマルクス主義	設問X:A正解はb「ヘーゲル」。マルクスはヘーゲルの弁証法的観念論の観念論をフォイエルバッハの唯物論と置き換えることによって弁証法的唯物論を構築した。B正解はb「レーニン」。下にある二度目の空欄でレーニンとわかる。C正解はc「チェコスロvakia」。設問Y:①正解はa。「ウェールズ」ではなく「スコットランド」が正しい。②正解はa。「王政復古で即位」したのはルイ18世。「1824年に即位」したのはシャルル10世。③正解はd。法兰クフルト国民議会の結論は「小ドイツ主義」。④正解はd。第2インターナショナル結成は「パリ」。1889年はフランス大革命百年の年でそれを期して結成された。⑤正解はc。二月(三月)革命での帝政崩壊後に成立した臨時政府は独・奥との戦争継続に固執した。そのため厭戦気運の蔓延した兵士や市民の反発をかい、「パンと平和」を掲げるボリシェヴィキへの支持が拡大することになった。⑥正解はc。北爆停止(1968.3)はジョンソン大統領(任1963～69)。	標準

[総合コメント]

設問Xの空欄補充問題は基礎レベルの問題が目立つ。ここでは絶対に取りこぼしは許されない。設問Yの正誤判定問題は文字がびっしり詰まっていてみるからに疲れそうな雰囲気を漂わせているも。見た目に負けず丁寧・慎重に読み込む必要がある。かなり細かいポイントが出題されていることもある。自信が持てない場合は後回しにしてあとから挑戦したほうがいい。また、見直しは必須なので最初にどこで判断したかわかるようにマークをつけておくといい。こうした作業は普段から習慣づけておくといい。復活した地図問題はインドシナ戦争の帰趨を決めた戦場であるディエンビエンフーの位置だった。このレベルになると教科書の付図では間に合わない。高校生向けの地図帳を学習の際に座右において頻繁に参照するとよい。地図の多用は煩瑣ではあるが実力養成には想像以上の効果がある。細かい知識の集積は、基本は山川『世界史用語集』の読み込みで、項目の説明文中に登場する固有名詞ももらさずマークしておく。とくに頻出の現代史については徹底的に学習しておく必要がある。また東京書籍の『世界史用語集』との併用も有効である。用語集の二冊使いは面倒ではあるが得点積み重ねのためには致し方あるまい。